



松明

(令和元年7月発行・隔月発行) 2019 vol.4



P4 病棟行事より

看護の日

地域医療連携係長 鈴木仁子



5月12日はナイチンゲールの誕生日にちなんで「看護の日」とされています。

当院では5月13日(月)～17日(金)に入院患者様へ各部署で工夫を凝らしたイベントを開催しました。入浴剤の使用では患者様から「温泉の雰囲気が出るね」との言葉が聞かれました。また、プレイルームにてアロマオイルの香りでリフレッシュしていただきました。他の病棟ではカラオケ大会を行い、患者様が曲を披露し楽しい時間を過ごしました。外来では、メッセージカード付のポケットティッシュを配布。栄養科スタッフが塩分量・カルシウム量の見本展示や栄養管理のパンフレットを配布し、診察の待ち時間に見ている方が多数いらっしゃいました。ひと時ではありましたが、患者様に楽しんでいただけたと思います。

院外では、5月25日(土)JA夢みなみファーマーズマーケットはたけんぼにて「出張！福島病院健康相談

室」を開催しました。内容は、血圧測定・骨密度測定・杉浦院長の健康相談・お薬相談・アロマハンドマッサージ・子供写真館を行いました。天候にも恵まれ多数の来場者で各ブースともに大盛況でした。健康相談の様子では、地域で生活する方々の健康に対する関心の高さと、地道な努力をされていることが伝わってきました。ハンドマッサージで気持ちよくリラックスしていただいたり、子供写真館では、白衣を着てはすかしそうにしながらも楽しそうでした。撮影した写真を台紙に貼り自らシールやお絵描きなどでオリジナルの作品を作り喜んでもらえました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

今後もより多くの方々に自分自身の健康に関心をもっていただけるようなイベントを企画していきたいと思えます。



本号のご案内

- 看護の日 1
- この季節の感染管理について 6
- 看護部だより 5～6月研修紹介 2
- 職員紹介 人事のご案内 6
- 療育だより バスハイキング ～岩瀬牧場～ 4
- 健康プラザ 言語聴覚療法について 7
- 病棟行事 4
- 地域医療連携室だより 登録医のご紹介 7
- 看護学校だより 春の防災訓練を実施して 5
- 外来担当医表 8
- 「看護の日」を振り返る 5

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

看護部では5～6月にかけて、3つの院内研修を行いました。

- 5月23日（木）
新人研修：静脈内注射（翼状針）研修
- 6月13日（木）
新人・既卒合同研修：「リフレッシュ研修」
- 6月20日（木）
看護の基本となりうるもの研修

これら3つの研修について、紹介したいと思います。



新人・既卒合同研修のみなさん

これから
リフレッシュ研修に
行って来ます！

① 静脈注射（翼状針）研修（5/23）

看護師の重要な仕事に注射に関する仕事があります。前回の看護部だよりでは、新採用者研修の様子を紹介しましたが、その時は“採血”の紹介でした。“採血”も“注射”も人体に針を刺す行為ですが、注射の場合は薬物を人体に注入する行為になります。よって今回の研修は人体モデルを使用しての研修です！！

実施者と手順書を確認するものと2人ペアとなり、薬剤と処方箋の照合、患者への説明等、一つ一つの工程を手順書と確認しながら本当の患者に対するのと同じように目線を合わせて演習を進めていきますが、緊張のあまり表情がこわばり、演習が終了すると大きく息を吐きだすのはご愛敬！見ている方も知らず知らず肩に力が入っていました。

静脈注射の研修は、今後「静脈内留置針」を使用する研修も予定されています。同じような看護行為でも目的によって使用物品が異なり、技術的にも難しさが加わります。

全体で研修を受けた後、病棟でも練習（モデル人形使用）を重ね、安全を確認出来て初めて、人体への実施が可能になるのです。それでも一步一步頑張っています！！



②リフレッシュ研修（6/13）

今年のリフレッシュ研修は新人・既卒看護師の合同企画として、病院を離れ、須賀川の市街を散策し、須賀川のステキな所をいろいろと発見してきました。日頃車で通り過ぎてしまう道筋、一歩中に入った路地、歴史もたくさんあり、活動しながらも同期と親交を深めあいとてもリフレッシュできた一日でした。当日は熱いくらいの晴天のなかを徒歩で移動したので、木陰やベンチがとても嬉しく研修生からも、「市中に一息つける場所がたくさんあって、須賀川は優しい配慮がされた街」と感想がありました。



皆笑顔で
リフレッシュ
OK！



③看護の基本となりうるもの研修（6/20）

看護の祖であるフローレンス・ナイチンゲールの看護原理を学ぶ研修です。この研修はシリーズで企画され、講義、事例検討、実際の看護展開、発表と続いていきます。

今回は第1回目として講義を行いました。研修は看護師長、副看護師長、レベルⅢ相当の指導的立場の看護師が対象です。

ナイチンゲールの「看護覚書」を基に、患者の内にある“生命力”を引き出すために生活を整える具体的な看護行為は何かを学びます。看護の原点にたちもどり、あらためて病とは、生きるとは、看護とはを見つめる意義深く身近な研修です。

今年度も療育指導室では重症心身障がい病棟の患者さんを対象にバスハイキングを実施しています。

5月22日（水）には福島県岩瀬郡鏡石町にある岩瀬牧場に行ってきました。不安定な天候が続いていましたが当日は天候も回復し心地よい日差しの中、新緑を感じながらの牧場訪問となりました。

岩瀬牧場には、うさぎ、かめ、やぎ、馬など様々な動物と実際に触れたり餌をあげることができるふれあいコーナーがあり、患者さんは柵越しにやぎや馬に餌をあげたり、直接膝の上にうさぎをのせてニンジンをあげたりかめの甲羅をなでてみたりとそれぞれゆっくりと動物と触れ合う時間を持てているようでした。笑顔で動物に積極的にかかわる患者さんもいれば、餌を食べる様子を真剣に見つめたり、中には動物に触れることを遠慮する患者さんがいたりと様々な様子が見受けられました。患者さんが家族や職員と一緒に動物と向き合う時間は、普段とは違う環境の中での貴重な経験となったのではないかと感じました。

今回のバスハイキングを行うにあたり、岩瀬牧場の方にはいろいろご配慮いただき心より感謝しております。これからも参加する方々により良い時間となるようスタッフ一同バスハイキングを盛り上げていきたいと思えます。



去る5月29日レッドベコズ様が福島病院に来院されました。お二人には以前、病院祭りでも演奏して頂いたこともあり、患者様、職員一同胸に期待を膨らませお待ちしていました。大きな赤べこを連れ、お二人は赤い衣装をまとって華麗に登場。シンセサイザーという楽器で様々な音を奏でる様子はとても新鮮で不思議なもので、口笛も透明感があり、患者様を魅了しました。演奏したり、踊ったりとたくさんのパフォーマンスが盛り込まれた演奏会で、多くの患者様が歌を口ずさみ、たくさん手を動かし、とても楽しそうに過ごされていました。突然のリクエストにも答えていただき、個人的に好きな曲をお願いした患者様は驚きと喜びを隠せない様子で、更に会場を盛り上げて頂きました。また、全体での演奏会での後には離床の難しい患者様たちのお部屋にも回ってもらい、ミニ演奏会も行って頂きました。あまり美しい演奏に涙を流す方もおり、音楽の素晴らしさを再度認識した日となりました。演奏会が終わったあとも、余韻は消えず病棟中に音色が

響いているような雰囲気が残っていました。レッドベコズ様、ありがとうございました。



看護学校では年2回、日常生活における災害への心構えと非常時の訓練を目的とした防災訓練を行っています。今年度は、4月19日（金）に学内での火災を想定してスモークマシンで煙を起し、通報、消火、避難誘導を組み合わせた避難訓練を実施しました。

昨年度は教員が火災を発見し消火活動を行っていましたが、今年は学生が火災を発見し消火活動を教員と共に実施しました。緊急時を想定して学生にはあえて消火活動に入ることを伝えていなかったため「まさか自分が消火活動に入ると考えていなかった」と驚いていましたが、「両手が塞がるため、煙を防ぐためにマスクがあるとよい」「日頃から消火器の場所や避難経路を確認する必要がある」と実際に消火活動をした視点からの意見があり、学生間で学びを共有することができました。

私は火元に駆け付け学生を避難誘導する役割でしたが、煙がかなり多く、床から30cm程の高さしか見えない状態でした。火災報知器がけたたましく鳴る中で、学生の手を引き、声をかけながら無事に5分程度で全員避難することができました。毎日過ごしている学内や普段

一緒に過ごしている学生との訓練だったため、足元しか見えなくても何処に防災扉があるのか、どの学生なのかが分かりましたが、災害時ではこのようにスムーズにはいかないのでは、とも思いました。

日頃から避難経路や災害時の対応をイメージすることの必要性を実感する一日となりました。



5月12日は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの生誕日であり、この日を含む1週間は看護週間です。

看護の日の目的の1つとして、多くの方に看護及び看護職に対する理解を深めて頂く願いがあります。

そのため、各地域で、ふれあい看護体験、看護の出前授業など都道府県ごとにさまざまな行事が行われています。

私たち学生は「看護の日」の取り組みとして、「理想の看護師になるためにはどうすれば良いか、そのためには何が必要か」一言ずつ、14・15回生全員で書きました。そして、1つの絵を完成させました。絵のモチーフは、「すべての人に看護の心を」というテーマにし、人種や国境・宗教にとらわれることなく、すべての人に看護を提供することを表したいという願いを込めました。

今日、看護の日の取り組みの中で、自分達がなりたい看護師になるためには何をすればよいのか、自分には何が足りないのか、再確認することができました。また、看護には長い歴史があり、様々な深い意味があることに気づかされました。看護の心は目に見えにくいですが、心遣いや思いやりの言葉は私たちの配慮ある行動により相手に伝わることも学びました。



この季節の感染管理について

感染管理認定看護師（副看護師長）高橋 雄 司

冬の感染症は何かと聞かれたら、多くの方はすぐにインフルエンザやノロウイルスを思い浮かべるのではないのでしょうか。昨シーズンは連日新聞やニュースでインフルエンザが取り上げられていたように思います。では、夏の感染症と聞かれたらどうでしょうか。熱中症についてはよく耳にしますが、感染症ではありません。ここで以前したこともある「紹介福島県感染症発生動向調査」をみてみましょう。

福島県感染症発生動向調査によると福島県内では「手足口病」が流行しているようです。手足口病は口腔粘膜及び手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、髄膜炎などの合併症を引き起こすこともあります。4歳位までの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患であり、2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。また、学童以上の年齢層の大半は既にこれらのウイルスの感染（不顕性感染も含む）を受けている場合が多いので、成

人での発症はあまり多くありません。

人から人への感染としては主に咽頭から排泄されるウイルスによる飛沫感染でおこりますが、便中に排泄されたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの感染などもあります。便中へのウイルスの排泄は長期間にわたり、症状が消失した患者も2～4週間にわたり感染源になります。

感染予防として、症状のある方は誰かにうつさないためにマスクの使用やトイレの後の手洗いをしっかり行うことが大切です。また自分がうつらないためには、帰宅時や食事の前の手洗いをしっかり行うことが大切です。いずれにしても手洗いが感染予防には大切です。たかが手洗い、されど手洗い。手洗いをしっかり行い、感染症とは無縁の楽しい夏を過ごしたいですね。



職員紹介 人事のご案内



リハビリテーション科 理学療法士 滝 仁 壮 (たき のりまさ)

- 出身地：山形県山形市
- 所属：リハビリテーション科
- 趣味：スポーツ

● 山形から来ました。以前は外来整形外科でスポーツリハビリや整形疾患を主として関わらせていただきました。福島病院では多くのことを学び、吸収していけるよう日進月歩で頑張っていきたいと思います。



リハビリテーション科 作業療法士 三瓶 祐里菜 (さんべい ゆりな)

- 出身地：福島県
- 所属：リハビリテーション科
- 趣味：アロマセラピー

● 5月より入職いたしました、作業療法士の三瓶祐里菜です。入職してから2ヶ月が経ちましたが、まだまだ分からない事だらけです。これからたくさん学び、早く患者様の役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



非常勤事務助手 杉本 如 華 (すぎもと ゆきか)

- 出身地：福島県須賀川市
- 所属：管理課
- 趣味：子供の野球観戦、読書

● 6月より事務助手として採用となりました。約1ヵ月が経ちますが、不慣れな私に丁寧に仕事を教えて下さり、皆さんの優しさに助けられています。主に出勤簿の管理をさせていただいているので、少しでもたくさんの方の名前と所属場所を憶えられるようにしたいです。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからどうぞ宜しくお願いします。

リハビリテーション科は、前年度まで理学療法部門、作業療法部門のみでしたが、今年度より言語聴覚療法部門が開設されました。現在、言語聴覚療法部門は言語聴覚士が2名在籍しています。言語機能や飲み込みの機能に課題を抱える、小児から成人までの幅広い方々を対象に、言語・聴覚・摂食嚥下機能の獲得・回復・維持を目的に、リハビリテーションを行っています。

暑い季節になり、水分を飲まれる機会が多くなってきていますが、みなさんは水分等でむせ込みはありませんか。普段私たちが口にする物の中で、水分はむせ込みやすい物と言われています。むせ込みの原因はいくつかありますが、加齢に伴い手足の筋力が衰えていくように、飲み込みに必要な筋力も衰えていき、以前はむせ込まずに飲み込めていたものがむせ込むようになることがあります。

今回は、ご自宅で行える飲み込みの訓練として「頭部挙上訓練」を紹介します。方法は①床や布団に仰向けに

なります②肩を床につけたまま頭だけをつま先が見えるまでできるだけ高く上げその位置で1分間③1分後に上げた頭をゆっくり下し1分間休みます。この流れを1セットとし、3セット繰り返し行います。3セットを1回とし、1日に3回行うとより効果があると言われております。ご自身の体調や体力に合わせて是非行ってください。



地域医療連携室だより

登録医のご紹介

地域医療連携係長 鈴木仁子

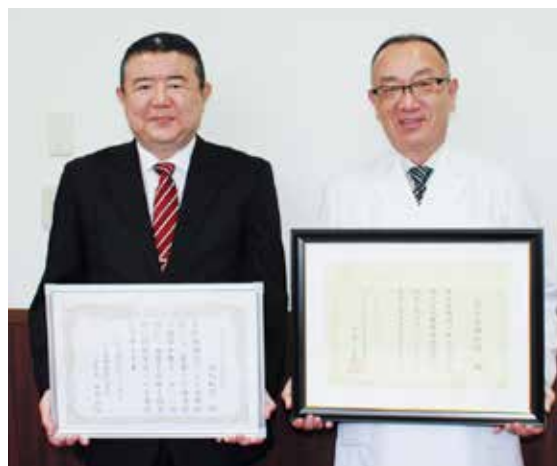
当院はこの度（令和元年6月24日）、公立岩瀬病院と「病病連携」を結びました。「病病連携」とは病院と病院の連携のことです。

病院の機能により病状に応じた医療が行われるようになっており、各病院間では日頃から連携をとりながら、適切な医療が受けられるようにしております。

当院の診療機能は、重症心身障がい児（者）に関する医療、脳神経内科・消化器内科に関する医療を担っております。当院での診療を希望される患者さまに対して、私たちが提供できる最良の医療を提供しなければならないと考え、より高度な専門的医療が必要と判断されたり、患者さまや家族の希望がある時は、速やかに適切な他の医療機関を紹介し診療を受けられるようにしなければなりません。

公立岩瀬病院へは患者さんを紹介することも多く、急な依頼にも対応していただいております。それぞれの機能を活かし協力体制をとりながら、病気の診断や治療・

検査・健康相談等を行い、患者さんへの医療提供の充実を図るよう努め、切れ目のない医療を提供していければと考えております。よろしく願いいたします。



福島病院 杉浦院長

公立岩瀬病院 三浦院長

●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

[2019年7月1日より]

区 分	月	火	水	木	金
内 科 1	安田千尋	安田千尋			安田千尋
内 科 2	佐藤由紀夫 (第1・3)				
内 視 鏡 検 査				安田千尋	
脳 神 経 内 科	伊藤英一	根本和夫	伊藤英一	根本和夫	杉浦嘉泰
小 児 科	福島医大	石井希代子	河原田 勉		福島医大
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		石井 勉			河原田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来)	平山恒憲 (第2)再来のみ			石井希代子(1・3・5) 加藤朝子(2・4)	
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃井伸緒 (第2・4)		
小 児 専 門 外 来	予 防 接 種 (午後)				
整 形 外 科	古川 浩三郎		古川 浩三郎		古川 浩三郎
小 児 外 科				清水裕史	
脳 神 経 外 科		福島医大 (第2・4)			

●完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

- 受付時間は**午前8:30～11:00**までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は2019年7月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルができました●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)
診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

4歳になった娘がよく言います。「とうちゃん、きょうふくしまにかえるの?」。「父ちゃんのおうちはここだから、福島にお仕事に行くんだよ。」と娘に大人の事情を説き、涙ながらにお別れをする。週末によくみられる光景です。そのころお兄ちゃんたちはテレビに夢中…。单身赴任の悲しき定めかな。(編集委員 SSK)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 **福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>